

徳島県インフラDX推進プラン（概要）

建設産業を
とりまく課題

- 自然災害の激甚化・頻発化
- インフラの老朽化
- 少子高齢化による担い手不足

新たな
社会情勢の変化

- ◆ 「新型コロナウイルス」の感染拡大
- ◆ 「デジタル技術の活用」による働き方改革

目指すべき姿

産学官の連携のもと、誰もが簡単に「デジタル技術」を活用できる環境を整備
「建設産業の働き方改革や就労環境の改善」、「i-Constructionによる生産性向上」を実現

推進期間：R5～R9

DX推進による抜本的な変革を図るため、次の「4つの視点」から段階的に取り組む

1

デジタル人材の育成・環境整備



3次元データの利活用により効率化を実現

3

UAVやレーザースキャナを活用した現地把握

3次元モデルの作成

活用例2
わかりやすい
工程管理
舗装作業

活用例1
地域住民との
合意形成補助
ヘッドマウント
ディスプレイ

活用例3
デジタル施設台帳の整備
3次元データ
で維持管理

2

非接触・リモート型の働き方への転換

発注者

受注者

インターネット

メール通知

電子署名

契約書(電)

電子署名

移動・郵送
不要

印紙税
不要

書類授受
時間短縮

必要時に参照

発注者で保管
(長期保管可能)

保管コスト
不要

電子契約への
移行

工事現場

ウェアラブルカメラ
により撮影

会議室

オンラインで
現地把握

遠隔臨場の実施

i-Constructionの推進

施工やインフラメンテナンスの現場を変革

4

AIによる
路面点検

●ひび割れ率

●わだち盛り量

●平坦性

ICT活用工事

定置式水平
ジブクレーンの活用

インフラDXを実装し「地域の守り手」となる建設産業が持続的に発展